

令和7年度 家庭教育学級活動報告集

Growing up!



朝霞市教育委員会

共に学び、共に育つ



この度の令和7年度家庭教育学級活動報告集「Growing up！」の刊行を心よりお喜び申し上げます。

また、各学級において運営にあられた小学校、中学校の役員の皆様、そして、事業補助金制度を活用し学習会を実施していただいた地域団体の皆様には、深く感謝申し上げます。

子どもたちにとって「家庭」とは、安らぎのある居場所であると同時に、人とのコミュニケーションを学ぶ最も身近な「社会」の出発点でもあります。子どもたちが豊かな人間性を備え、未来へ向かって力強く社会へ羽ばたいていくために、家庭において親子がともに学び、育ちあう「家庭教育」の重要性は、いつの時代も変わることはありません。

しかしながら、情報が溢れ、価値観が多様化する現代社会において、子育てに迷いや不安を感じ、自信を持てなくなる場面も少なくないのではないのでしょうか。家庭教育は本来、それぞれの家庭における「個々の営み」ではありますが、決して孤立して行うものではありません。子どもが社会の一員として健やかに生きていくためには、地域のコミュニティの中で、私たち大人が責任を持って見守っていく姿勢が不可欠です。

今年度の家庭教育学級では、保護者とお子さんが一緒に学ぶ機会があり、学習会を通じて親子のコミュニケーションを図る機会ができたのではないのでしょうか。

また、親としてのあり方を学び、同じ悩みを持つ仲間と語り合い、新たな気づきが得られたことと思います。こうした親子のコミュニケーション、親同士の繋がりこそが、今まさに求められている社会の姿です。

子どもたちの未来を育むのは、家庭であり、そして社会そのものです。本報告集が、次年度以降の新たな学びの糧となり、皆様の御家庭がさらに笑顔あふれる場所となることを願うと共に、皆様の御健勝と御多幸を心より祈念いたしまして、刊行に寄せる挨拶とさせていただきます。

令和8年3月

朝霞市教育委員会教育長 二見 隆久

も く じ

共に学び、共に育つ 朝霞市教育委員会
教育長 二見 隆久

令和7年度 家庭教育学級関係行事 1

PTA等学習記録

朝霞第七小学校父母と先生の会家庭教育学級 2

朝霞第九小学校保護者連絡会家庭教育学級 3

朝霞第十小学校子どものための会家庭教育学級 4

朝霞第四中学校父母と先生の会家庭教育学級 5

地域団体学習記録

家庭教育学級 おはなしの木 6

家庭教育学級 はぴちるバナナ 7

家庭教育学級 パパママ育自くらぶ 8

家庭教育学級 NPO法人あさかプレーパークの会 9

令和7年度 家庭教育学級合同講演会 10

朝霞市における家庭教育学級のあゆみ 15



©むさしのフロントあさか

令和7年度 家庭教育学級関係行事

開設説明会



【地域団体・サークル等】

個別説明 生涯学習・スポーツ課窓口

【幼稚園／小学校／中学校】

5月16日(金) 10:00～11:30 市役所会議室

内容

家庭教育学級の趣旨と意義、学級運営上のポイント、提出書類の作成について説明



運営相談会



随時開催 / 市役所内会議室等

内容

講師の紹介、学習会の企画・運営や書類の作成など
具体的にアドバイス
家庭教育学級開設に伴う相談

合同講演会



11月6日(木)10:00～12:00

朝霞産業文化センター 多目的ホール

演題：ネット社会で生きる子どもたちのために
～STOP！ネット依存 STOP！危険な出会い～

たけうち よしひろ

講師：竹内義博氏 ソーシャルメディア研究会チーフ技術指導員

朝霞第七小学校父母と先生の会 家庭教育学級

♪学習目標 開かれた家庭と地域の
交流の場作り

運営委員長	上谷 香織
開催回数	3回
延べ学習時間	6時間00分
総経費	60,000円
延べ参加者数	103人

＼うちの性教育、これでいいの？（2回連続講座）／ 講師：太田 佳代子 氏 会場：産業文化センター （性と命の本気コーチ GAO／進学塾みらい学舎塾講師）

性教育講座1回目

子供に伝える為の性教育を学ぶ
9月11日（木）10:00～11:45
受講者数／42人



大人があまり慣れ親しんでいない「性教育」について、初回は保護者向けの学習会、2回目は親子講座という連続形式で開催しました。この学習会をきっかけに、まずは親が家庭での伝え方を学び、それを2回目の親子学習へとつなげる機会としました。

＼食育と給食試食会／

11月5日（水）11:30～13:30
講師／酒井 千春 氏
（学校栄養教諭）

※開催当日、講師がインフルエンザに罹患したため、栄養教諭の講座は中止となり給食試食会のみ開催しました。

性教育講座2回目

親子学習

親子で学ぼう！おうち性教育講座
9月23日（火）10:00～11:45
受講者数／51人

感想／性教育講座という踏み込んだ内容のため、当初は申し込み状況を心配していましたが、多くの方に参加していただくことができました。講座終了後の感想には、「このような講座を待っていた」という声が多くよせられ、大好評でした。子どもたちからも「参加して良かった」「性教育を理解した」という嬉しい言葉をもらいました。自分が誕生した奇跡と命の大切さをより多くの方や子どもたちに届けるため、今後はさらに幅広い年齢層の方に参加者してもらえるよう工夫していきたいと考えています。



体の中で一番小さな細胞の卵子。針の先ほどの小さな穴を天井の灯りに透かして確認する子どもたち



朝霞第九小学校保護者連絡会 家庭教育学級

♪ 学習目標 安心・安全な生活づくり
～感染症予防と防犯意識を高める～

運営委員長 雨谷 珠江
開催回数 3回
延べ学習時間 5時間30分
総経費 12,677円
延べ参加者数 25人



子どもの異変を素早くキャッチするアンテナが大事！

＼防犯意識／

「子どもたちを犯罪から守るために」

7月8日(火) 10:00～11:30

講師/渡邊 圭介 氏

(朝霞警察署 生活安全課)

会場/家庭科室

受講者数/ 11人

内容・感想/子どもを犯罪から守るための具体的な対策や、日常的な見守りの重要性について学びました。特に行動や表情など、子どもの「小さな異変」に気づけるよう、常に意識を向けることの大切さを実感しました。防犯ブザーなどの備えはもちろんですが、日頃から何でも話し合える家庭環境を作ることこそが、子どもを守るための土台になると再認識する貴重な機会となりました。今回学んだことを生かし、地域や家庭で子どもたちを温かく見守っていきたいと思います。



合同講演会

ネット社会で生きる子どもたちのために ～STOP! ネット依存 STOP! 危険な出会い～

11月6日(木) 10:00～12:00

講師/竹内 義博 氏

(一般社団法人ソーシャルメディア研究会
チーフ技術指導員)

会場/産業文化センター

内容/10ページ～14ページに掲載



＼アロマの効能を学ぶ／

家族の免疫力を高めることと からだを癒すアロマとは

12月11日(木) 10:00～12:00

講師/平山 朱巳 氏

(アロマスクール『gratia』代表)

会場/家庭科室

受講者数/ 11人

内容・感想/アロマから得られる効能や効果、使用上の注意点について学びました。アロマを生活に取り入れることは、単なるリラックス効果だけでなく、身体の免疫力を高めて体調を整える助けにもなることを知り、大変勉強になりました。座学のあとには実際にジェル作りを体験し、アロマをより身近に感じることができました。自分自身や家族の健康維持のために、ぜひ家庭でも取り入れていきたいと思いません。

朝霞第十小学校子どものための会 家庭教育学級

♪学習目標 子育て中に直面する親子の悩みや不安を軽減するヒントを得る

運営委員長 前元 七重
開催回数 3回
延べ学習時間 6時間00分
総経費 24,545円
延べ参加者数 40人

＼子育てのストレスが減る／

ママ・パパのための心理学講座

7月4日(金) 13:00～15:00

講師/生井 由起子 氏

(家族関係カウンセラー)

会場/被服室

受講者数/18人

内容・感想/ワークショップやロールプレイを交えた講座を通じて、子どもの気持ちをより深くくみ取ることができました。また、怒りの深層心理を探求し、明日からすぐに実践できるヒントを学びました。子育ての「困った!」を安心して話せる場があることは大切だと実感しています。



熱心に学ぶ参加者の皆さん



合同講演会

ネット社会で生きる子どもたちのために

～STOP! ネット依存 STOP! 危険な出会い～

11月6日(木) 10:00～12:00

講師/竹内 義博 氏

(一般社団法人ソーシャルメディア研究会
チーフ技術指導員)

会場/産業文化センター

内容/10ページ～14ページに掲載



～知っていますか? 水の大切さ～

家族の未来の身体を作る食と水

12月2日(火) 13:00～15:00

講師/人見 亜澄 氏

(セラピスト)

会場/被服室

受講者数/6人

内容・感想/現役セラピストの講師を招き、講師自身の経験に基づいた「水分摂取の重要性」について、実践を交えながら学びました。受講者からは「家族の身体の不調に気づくためにも、正しい知識を持つことの大切さを改めて実感した」といった声が寄せられ非常に有意義な講座となりました。



朝霞第四中学校父母と先生の 家庭教育学級

♪学習目標 中学生の子どもを持った今
学びたいこと

運営委員長	田上 未来
開催回数	3回
延べ学習時間	4時間30分
総経費	44,734円
延べ参加者数	103人

最新情報！

「2027年度からの高校受験システム」

～受験生の親の心得と受験勉強のやり方、塾の選び方教えます！～

7月5日(土) 11:15～12:30

講師/成田 貴之 氏

(成田塾代表、学習アドバイザー兼塾
選びアドバイザー)

会場/図書室

受講者数/69人

内容・感想/2027年度から変更になる高校受験システムについて、面接が導入されることになるため、自宅でも面接の練習をすることや受験生の親の心得をお話いただきました。また、家庭学習は変わらず重要であることも話されました。保護者にとっては、塾選びや新しい高校受験システムに対する保護者の関心が高ように伺えました。



＼性教育×高校受験/ どちらにも答えます！

12月6日(土) 11:15～12:30

講師/太田 佳代子 氏

(性と命の本気コーチGAO・
進学塾みらい学舎塾講師)

会場:/図書室

受講者数/24人

内容・感想/入試までのプロセスとともに、受験生の親としてできる、子どもへのサポートや関わり方について学びました。また、長年携わってこられた「性教育講師」の観点から、親子間では話しづらい性について、思春期真っ只中の子どもとのコミュニケーションの取り方についても理解を深めることができました。

合同講演会

ネット社会で生きる子どもたちのために
～STOP! ネット依存 STOP! 危険な出会い～

11月6日(木) 10:00～12:00

講師/竹内 義博 氏

(一般社団法人ソーシャルメディア研究会
チーフ技術指導員)

会場/産業文化センター

内容/10ページ～14ページに



家庭教育学級 おはなしの木

♪学習目標 絵本を利用した家庭での性教育について学ぶ

代表 野呂瀬 由美

開催回数 2回 / 延べ学習時間 3時間30分 / 延べ参加者数 307人

主な活動場所

朝霞第六小学校

1回目

＼絵本から学ぶ性与人権教育／

家庭での性教育の進め方がわからない！

そんな悩みに答えてくれるGAO先生の講座で学びませんか

11月18日(火) 10:00～12:30

講師 / 太田 佳代子 氏

(性と命の本気コーチGAO・進学塾みらい学舎塾講師)

会場 / 朝霞第六小学校 多目的ホール

受講者数 / 17人

内容・感想 / 『性の話＝タブー・恥ずかしい』というこれまでの認識を改め、家庭内で当たり前話せる環境作りをすることが大切であると感じました。絵本を活用した家庭での性教育の進め方を学ぶとともに、大人自身も性教育についての知識や捉え方をアップデートし続ける必要性を強く実感しました。



2回目

親子学習

【家庭教育学級&公開授業】

＼命のはじまり／

性教育を通じて、命の大切さについて学ぶ

12月10日(水) 10:35～11:35

講師 / 太田 佳代子 氏

(性と命の本気コーチGAO・進学塾みらい学舎塾講師)

会場 / 朝霞第六小学校 体育館

受講者数 / 290人

内容・感想 / 小学4年生の公開授業を兼ねた学習会を開催し、親子で『性教育絵本』の読み聞かせの時間を共有しました。子どもたちの素直でリアルな反応を体感し、家庭での性教育の進め方や、伝えるべき範囲について具体的に学ぶことができました。参加者からは「家庭でも恥ずかしくがらずに話してよい話題だと価値観が変わった」「親子で学べる機会に感謝している」といった感想が多く寄せられました。本講座が、それぞれの家庭で性教育について話し合うきっかけになれば嬉しいです。



家庭教育学級 はぴちるバナナ

♪学習目標 保護者が抱えている育児の悩みや迷いを解消し、保護者自身の幸福感や充足感を高め、家族の関係性をより良いものにしていく

代表 堀川 明子

開催回数 2回 / 延べ学習時間 4時間00分 / 延べ参加者数 42人

主な活動場所

産業文化センター

1回目 【オンライン同時開催】

わたしのおうちの性教育 これでいいの？

～性・いのちについて話そう～ 【実践編】

5月27日（火）9：45～11：45

講師 / 太田 佳代子 氏

（性と命の本気コーチGAO・進学塾みらい学舎塾講師）

会場 / 産業文化センター

受講者数 / 26人

内容・感想 / 講師作成のタイプ別診断（事前のアンケートに答えてタイプを判定）を行い、子どものタイプに合わせた声かけのポイントを学習しました。子どもを性被害者、性加害者にしないためのワーク（参加者が役割を演じて疑似体験する）ロールプレイを行うことで、親から子へ伝える「性教育」を理解し、より深めることができました。



2回目

家族みんなの 笑顔を取り戻した心のしくみ

ある日子どもが**不登校**になりました
おうちのなかが

お母さんにとっても、子どもにとっても
安心の場所になっていますか？

1月13日（火）13：30～15：30

講師 / 生井 由起子 氏

（家族関係カウンセラー）

会場 / 産業文化センター

受講者数 / 16人

内容・感想 / 講師ご自身の経験談を通じ、悩みや葛藤の末に辿り着いた「子どもを信じて待つ」ということの大切さを学びました。そのためには子どもを変えようとするのではなく、親自身が自分に対する向き合い方を変えていくことが重要であると気づかされました。子どもとの関わり方を見つめ直す、大きな学びを得る時間になりました。

家庭教育学級 パパママ育自くらぶ

♪学習目標 「子育て、自分育て、家族育て」をモットーに
子育ての知識を学び、より充実した家庭内教育を目指す

代 表 井出 晴佳

開催回数 2回 / 延べ学習時間 3時間30分 / 延べ参加者数 12人

主な活動場所

産業文化センター

1回目

しつもんは人生を変える 子育て&マネー

子どものやる気を引き出す「魔法の質問」と
子育てに欠かせないお金の話し

11月24日(月) 10:00~11:45

講 師 / 前田 花苗 氏

(しつもんキッズインストラクター &
FP MFA株式会社)

会 場 / 産業文化センター

受講者数 / 6人

内容・感想 / 今回の講座では、ペアワーク
やグループワークを中心に、子どものやる
気を引き出すための問いかけや、自分自身
の思考のあり方について深く探求しました。
普段子育てについて踏み込んだ会話をしな
いパートナーや他の方々の価値観に触れる
ことができ、非常に有意義な時間となりま
した。学びの中で特に印象に残ったのは、
自分自身の「ありたい姿」を思い描きなが
ら子どもと接することの大切さです。また、
将来の家族の幸せを考えた際、単に不安か
ら節約(我慢)をするのではなく、長期的
な視点で目的意識を持った貯蓄や資産運用
の重要性についても学ぶことができました。
「子育てを楽しみながら、将来のために資
産を計画的に増やしていく」という、前向
きな考え方へと意識をシフトさせることが
できた貴重な機会となりました。



2回目

親子のコミュニケーション

ママもパパも幸せになる育自
子育て講座で学んで
大人も子どもも共に成長!!

12月20日(土) 10:00~11:45

講 師 / 佐藤 麻由子氏

(元心屋認定講師 晴れる屋まゆこ)

会 場 / 産業文化センター

受講者数 / 6人

内容・感想 / 自分の「心の現在地」を確認し、
現在の認識に至った背景を振り返りました。
日々の生活の中で、つい無理をして続けている
ことや、一歩踏み出せずにいることを整理
し、客観的に自分を見つめ直す機会となりま
した。特に行動を妨げている不安や恐れを言
語化し、自分を止めている「心のブレーキ」
を明確にするワークが印象的でした。ブレー
キを外すための自分に合った言葉を創作した
ことで、自分自身のあり方が子育てにどう影
響するかを深く学ぶことができ、大変充実し
た時間となりました。

家庭教育学級 NPO法人あさかプレーパークの会

♪学習目標 子どもと関わる大人のスキルアップ講座

代表 野上 眞由美

開催回数 2回 / 延べ学習時間 3時間30分 / 延べ参加者数 25人

主な活動場所：朝霞の森、黒目川

市内の公園、公民館

1回目

プレーリーダーから学ぶ 子どもの気持ちとの向き合い方

9月24日(水) 10:00~11:45

講師/関戸 博樹 氏

(NPO法人日本冒険遊び場づくり協会代表・
こども家庭庁子どもの居場所部会臨時委員)

会場/中央公民館

受講者数/12人

内容/・プレイワークから関わり方を学ぶ→寄り添うワークと邪魔をするワーク

・主体性を支える大人の関わりのコツ→①選択肢を示す ②遊び心を使う ③タイミングを待つ ④問いかけに変える ⑤一緒にやる雰囲気を作る。大切なことは信頼関係を築く事。

子ども時代は純粋に『子ども』として生き、遊ぶ。

◆参加者の感想◆

- ・子どもへの接し方が色々と勉強になりました。
- ・今日話を聞いて自分の子どもとの関わり方は反省点ばかりだと改めて感じました。
- ・ネガティブな感情に対して否定ばかりしている今の自分を変えて行きたいです。
- ・イヤイヤ期対策中なので今回の講座を受けてとても勉強になりました。
- ・今後の関わり方を見つめ直していきます。
- ・改めて子供の感情に寄り添うことが大切だと思いました。
- ・ストップして、見て聞いて、行動するを大切にしたいです。



2回目

～見えにくい困難の支援を考える～

走り続ける子どもたち

2月19日(木) 10:00~11:45

講師/みかん先生 (福井 友香)

(かきかた書道教室みかん主宰・カラフル
バードくにたち代表・元特別支援学校教諭)

会場/南朝霞公民館

受講者数/13人

内容・感想/学校へ行けない理由や背景には、一人一人多様な困りごとがあることを理解しました。子どもを変えようとする前に、まずは大人が理解を深め、環境や関わり方を見直すことの大切さを学びました。

「適切な支援があれば、子どもは自ら力を伸ばしていける」というお話に勇気づけられるとともに、周囲の大人たちが、子どもが安心して学べる環境を築いていく必要性を強く感じました。講師の「できないことは悪いことではなく、サポートしていくこと」という言葉が、深く心に残っています。



令和7年度 家庭教育学級合同講演会

ネット社会で生きる子どもたちのために ～STOP! ネット依存 STOP! 危険な出会い～

講師：竹内 義博 氏（一般社団法人 ソーシャルメディア研究会チーフ技術指導員）

令和7年11月6日（木）10:00～12:00

朝霞市産業文化センター 多目的ホール

参加人数 63人

1.Society 5.0と急加速する超スマート社会

現代社会は、政府が掲げる「Society 5.0（超スマート社会）」の真っ只中にあります。かつての狩猟社会（1.0）、農耕社会（2.0）、工業社会（3.0）、情報社会（4.0）を経て、仮想空間と現実空間が高度に融合する5.0の時代が到来しました。2016年当時に「2026年の実現」を目指していたこの計画は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の予想を遥かに上回るスピードで社会実装されました。遠隔授業、キャッシュレス決済、自動運転、スマート農業、遠隔医療など、かつて「夢物語」と思われていた技術が、今や当たり前の日常となっています。しかし、利便性が向上する一方で、新たなリスクも顕在化しています。SNSでの誹謗中傷、低年齢層におけるネット利用の常態化など、私たちが直面している課題は深刻です。もはや「使うな」という禁止は通用しません。自動車と同様、使い方の誤りやルールの不徹底が悲劇を招くのであり、これからの時代には「正しく怖がり、賢く使う」姿勢が不可欠です。

2. データから見る子どもたちのネット利用現状

ソーシャルメディア研究会が2024年度に実施した、約11万人（小1～高3）を対象とした大規模アンケート調査からは、衝撃的な実態が浮かび上がっています。

① 所持率と利用の常態化

- ・スマホ所持率：小学校5年生で過半数を超え、高校生では98.9%と、ほぼ全員が所持しています。



・ネット利用率：小学校1年生ですでに約8割が毎日ネットに接続しています。2歳児の利用率も6割を超えており、ネット利用はもはや「乳幼児期からの常識」となっています。

② 男女による利用傾向の違い

男子（ゲーム中心）：低学年からゲーム機で接続し、オンラインゲームを通じて他者と繋がります。毎日のログインが求められるゲームの特性上、接続頻度が高い傾向にあります。

・女子（動画・SNS中心）：低学年はリビングのテレビでYouTube等を視聴し、4年生頃からスマホへ移行。中学生以降はInstagramなどのSNS利用が急増します。

・トラブルの質の差：男子はゲームをきっかけとした対面での喧嘩に発展しやすく、女子はSNS内での可視化されにくい陰湿なトラブル（いじめ等）に発展しやすいのが特徴です。

③ 家庭内での過ごし方

学年が上がるにつれ、家庭内での活動は「ネット」が圧倒的多数を占めるようになります。高校生では8割以上が帰宅後ネットに費やしており、学習については「塾やカフェで済ませ、家はネットを楽しむ場」という構造に変化しています。

3. 「長時間利用」がもたらす生活への悪影響

1日4時間以上ネットを利用する子どもたちの層には、深刻な生活の乱れが見られます。

・身体的・精神的影響：朝食欠食率が倍増し、深夜0時以降の就寝が常態化しています。睡眠不足とお腹の空き、そして長時間利用による刺激が、子どもの「イライラ」を増幅させます。

・自己肯定感の低下：4時間以上の利用者は、勉強に対する自信を著しく失っています。これは学習時間の不足だけでなく、ネットへの逃避がさらなる自信喪失を招く悪循環に陥っている可能性を示唆しています。

・リスクへの接近：長時間利用者は、知らない人とのやり取りや、高額課金（5,000円～10万円以上）を経験する割合が有意に高く、トラブルに巻き込まれる確率が飛躍的に上昇しています。

4. 闇バイトの巧妙な仕組みと陥らく

警察庁が最重要課題としている「闇バイト」は、決してアルバイトではなく、犯罪の実行役募集です。子どもたちがなぜ加担してしまうのか、その仕組みを理解する必要があります。

犯罪へのステップ

- ①動機：「推しに投げ銭をしたい」、「旅行に行きたい」といった、ごく普通の金銭的欲求から始まります。
- ②接触：SNSで「高額バイト」を検索し、匿名性の高いアプリ（テレグラム等）へ誘導されます。
- ③初期の成功体験：最初は「ポストに荷物を入れるだけ」といった、犯罪だと気づきにくい、あるいは心理的ハードルの低い「受け子」、「出し子」からスタートさせます。
- ④個人情報の把握と脅迫：応募時に住民票や免許証、自撮り画像などを送らせ、辞めようとした瞬間に「家族に危害を加える」、「家に行く」と脅迫に転じます。子どもたちは社会経験が乏しい



ため、「ポスト投函で5,000円」という条件が異常であることに気づけません。一度でも関わると抜け出せない仕組みであることを、大人が具体的に教える必要があります。

5. ネット依存（ゲーム障害）の本質

WHOが疾病として認定した「ゲーム障害」ですが、ネット依存には大きく分けて二つのパターンがあると指摘されています。

- ①娯楽型依存：「楽しいからやめられない」状態。これはルール作りや時間制限で比較的改善可能です。
- ②逃避型依存：リアルな生活（学校、家庭、成績、人間関係）に課題があり、その苦痛から逃れるためにネットに依存している状態。特に深刻なのは後者です。動画の事例のように、かつての優等生

であっても、現実世界での挫折（スランプ）をきっかけにネット世界のヒーロー（課金による強さ）に居場所を求めてしまいます。この場合、「ネットを取り上げる」だけでは解決しません。子どもの居場所を奪うことになり、家庭内暴力などのさらなる悪化を招く恐れがあります。解決の糸口はネットの中ではなく、リアルの課題（親子関係の修復や自尊心の回復）にあることを忘れてはなりません。

6. 「ネットでの出会い」子どもと大人の常識の乖離

2019年の大阪女児誘拐事件のように、子どもが自ら進んで見知らぬ大人に会いに行く背景には、大人との認識の決定的な差があります。

- ・子どもの感覚：「1年以上毎日やり取りしている」「自分の悩みを誰よりも優しく聞いてくれる」「憧れの生活をしている」＝「もう親友（または恋人）であり、よく知っている人」。

- ・大人の常識：「会ったことがないなら他人」「ネットの情報は偽装されている可能性がある」＝「危険な見知らぬ人」。

子どもは相手を「信じ切って」会いに行きます。騙す側は半年、1年という時間をかけて信頼を築く「なりすまし」のプロであることもあります。「行くな」と命令するだけでは、信頼関係ができている相手への憧れには勝てません。大人の常識を押し付けるのではなく、子どもの言い分を聴いた上で、想像力を働かせるための対話を重ねることが重要です。

7. まとめ：デジタル問題は「心の問題」

近年の調査では、子どもたちの意識に変化が見られます。以前は「放っておいてほしい」という声が主流でしたが、現在は「自分では制御できないから、一緒にルールを作ってほしい」「納得できるフィルタリングをしてほしい」という、大人への助けを求める悲鳴が上がっています。

保護者・大人への提言

- ・相談しやすい環境作り：子どもがトラブルを親に言わない理由は「暴走されるのが怖い」「どうせ理解してくれない」という不信感にあります。もし相談されたら、まずは「話してくれてありがとう」と肯定し、冷静に耳を傾けてください。

・「正しく怖がる」ための教育：ネットを全否定するのではなく、自動車の運転と同じように、リスクを具体的に教え、安全な操作技術（情報リテラシー）を身につけさせる必要があります。

・社会全体での取り組み：ネットの問題は家庭や学校だけでなく、社会全体の問題です。デジタル技術の問題と捉えるのではなく、子どもの孤独や承認欲求といった「心の問題」として向き合うことが、解決への唯一の道です。

超スマート社会において、ネットが子どもたちの生活を豊かにし、幸せにする道具となるよう、私たち大人は「対話」を諦めず、子どもと共に歩んでいく姿勢が求められています。

令和7年度 家庭教育学級合同講演会

ネット社会で生きる子どもたちのために

～STOP！ネット依存 STOP！危険な出会い～

子どもたちを取り巻くネット環境について理解を深め、ネットトラブルの背景と根本的な原因を考えます。また、子どもたちが安全にインターネットを利用するために、家庭における具体的な対策やルール作りについて共に学びます。

日時
2025年11月6日(木)
午前10時～正午(開場：午前9時30分)

会場 産業文化センター 3階多目的ホール

参加方法 申し込み不要。直接会場にお越しください。どなたでも参加できます。

保育 事前申し込み制 ※保育ご希望の方は下記参照

- ▶申し込み期間：10月6日(月)～10月20日(月)
- ▶定員15人(先着順) 対象：1才～未就学児
- ▶保険料：500円
- ▶市内在住の方を優先

※お子様は会場内同席可
※手話通訳あり

講師


竹内 義博 氏

- ・一般社団法人 ソーシャルメディア研究会チーフ技術指導員
- ・京都府警察ネット安心アドバイザー(元リーダー)
- ・一部) インターネット協会インターネット利用アドバイザー
- ・PC教室「ばそこんる～む123」代表

Webエンジニア等を経て2010年からPC教室「ばそこんる～む123」代表。子どものネット問題に関心を持ち、長く兵庫県立大学竹内研究室と共同研究に携わる。eネットキャラバン認定講師(総務省)や京都府警察ネット安心アドバイザー等として、ネットトラブル、ネット依存等について、教員、保護者・児童生徒対象の啓発講演に取り組む。総務省近畿総合通信局、京都府警、警視庁から青少年のネット問題への取組が評価され表彰されている。

問い合わせ：朝霞市教育委員会 生涯学習・スポーツ課
TEL：048-463-2920(直通)
E-mail：syogaku_sports@city.asaka.lg.jp

【講師プロフィール】

竹内義博(たけうち よしひろ)

Webエンジニア等を経て2010年からPC教室「ばそこんる～む123」代表。子どものネット問題に関心を持ち、長く兵庫県立大学竹内研究室と共同研究。eネットキャラバン認定講師(総務省)、京都府警ネット安心アドバイザー等として、ネットトラブル、ネット依存等について、教員、保護者、児童生徒対象の啓発講演に取り組む。総務省近畿総合通信局、京都府警、警視庁から青少年のネット問題への取組が評価され表彰されている。

朝霞市における家庭教育学級のあゆみ

家庭教育学級とPTA活動のスタート 昭和39年度～

朝霞第三小学校PTAの家庭教育学級を皮切りに朝霞市の家庭教育学級がスタート。徐々に家庭教育学級を開設する学校が増えていくと同時に、PTA活動も活発に展開されました。

家庭教育学級補助金交付の開始 昭和44年度～

家庭教育学級の活動を奨励・支援するため、小・中学校PTA等の開設学級に補助金の交付が始まりました。順調に開設学級が増え、PTA活動と共に家庭教育学級の組織化が進みました。

幼稚園・地域の家庭教育学級参加 昭和58年度～

幼稚園や地域団体でも家庭教育学級を開設し、学習会がスタートしました。特に地域団体の活動が活発になり、学習内容が多様化すると共に市民の参加も増加していきました。

定着した家庭教育学級 平成元年度～

PTA活動に家庭教育学級の学習会が組み込まれ、学級合同の講演会が開催されるようになり、より専門的な学習や学級同士の交流の機会が増加しました。また、地域団体の活動は、公民館を拠点に、年間目標を掲げて学習する態勢が定着していきました。

地域に密着した活動 平成7年度～

地域に密着した家庭教育学級の活動が一段と活発になり、学級数は30団体を超えるまでになりました。また、合同講演会は各学級の協力のもと進行するようになり、家庭教育学級を通じた情報交換が進展していきました。

補助金制度の拡充 平成10年度～

家庭教育について学ぶ機会を拡充させるため、PTA等対象の「補助金制度」に加え、地域団体が対象となる「家庭教育学級事業補助金制度」を新設しました。

報告集を「Growing up!」に 名称変更 平成30年度～

共働き世帯の増加などに伴い地域団体の開設学級が減り、PTA等の年間学習回数が減少傾向に。学級生の負担軽減と参加者のニーズに即した学習内容の充実を図る新たな学習活動を模索する時代になってきました。また、PTA等と地域団体が各々に発刊していた報告集を一冊にまとめ、名称を「Growing up!」に変更しました。

市内幼稚園、小・中学校のPTA等家庭教育学級の開設年度

開設年度	昭和													平成	
	39	40	41	42	43	44	45	47	48	50	59	60	63	2	24
PTA等	三小	一小	二小	四小	五小	六小	一中	二中	三中	七小	八小	四中	五中	九小	十小
幼稚園	昭和59年：なかよし、花の木、朝霞和光（菩提樹の森） 平成4年：根岸														



令和 7 年度家庭教育学級活動報告集
「Growing up!」

令和 8 年 3 月発行

編集 生涯学習部 生涯学習・スポーツ課

発行 朝霞市教育委員会

住所 朝霞市本町 1 - 1 - 1

電話 048-463-1111 (代表)

URL <https://www.city.asaka.lg.jp/>



家庭教育学級
ホームページ